整理No.	42

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	221-03	基本施策	省資源・資源循環の促進	所管部局	環境部
施　策　名	ごみ処理体制の充実			主担当課	生活環境課
				関係部局課	環境部清掃センター
施策の目標	環境に配慮したごみ焼却施設の建設や効率的な収集などにより、ごみ処理体制の充実を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
・市は可燃ごみを適正かつ安全に処理するため、ごみ処理施設を整備する責務がある。長野広域連合が新たに計画している、ごみ焼却施設建設予定地（大豆島地区）の住民に対して、十分な協議による合意形成を図り、早期の施設整備を推進する。 ・既存のごみ処理施設を安全かつ効率的に運用するため、老朽化した設備の維持修繕及び更新を適切に実施する。 ・日々の生活において発生するごみを、市民の衛生的な生活環境を保持するため、安定的かつ適正に収集運搬を行う。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H24）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
先進地視察研修会参加者数	人	30	30	50				60
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
先進的なごみ焼却施設や余熱利用施設等への視察研修参加者数	ごみ焼却施設のみならず余熱利用施設等周辺整備も含めた視察を実施し、住民のごみ焼却施設建設への理解を深める。							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
家庭ごみ収集日数	日	303	303	303				303
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
家庭ごみ収集運搬計画による収集日数	家庭ごみ収集運搬計画に基づき、適正、迅速、効率的に家庭ごみの収集運搬を行う。							

25年度の取組内容実績	・長野広域連合が大豆島地区に計画している広域ごみ焼却施設について、都市計画審議会の審議を経て都市計画の変更を行った。 ・周辺環境整備事業の健康・レジャー施設及び複合施設建設用地について、H26年３月県へ事業認定の申請書類を提出した。併行して両施設の基本設計に向け、H25年12月委託業者と契約を締結し設計作業を進めている。また、屋内運動場等の事業用地については、H26年３月に土地売買契約を締結した。 ・既存施設である焼却施設、資源化施設及び最終処分場施設の改修工事を計画的に実施した。 ・家庭ごみ収集運搬計画に基づき、適正、迅速、効率的にごみの収集運搬を行った。

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	順調
	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	・先進地視察研修会については、焼却施設のみから余熱利用施設等も含めて開催するなど、地元ニーズに配慮した、きめ細かな情報提供に努めている。 ・ごみ処理業務に支障が無いように、現処理施設の改修工事を行っている。 ・資源物の拠点回収（サンデーリサイクル）により排出機会を拡大している。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	・長野広域連合が大豆島地区に計画している広域ごみ焼却施設について、都市計画審議会の審議を経て、都市計画の変更手続きが完了した。 ・計画的に現処理施設の改修工事を実施し、予定どおり完了した。 ・適切、迅速、効率的なごみ収集運搬により、衛生的な生活環境が保持されている。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	・先進地視察研修により、地元住民のごみ焼却施設等への理解を深めてもらい、地元との信頼関係の構築を図ることができた。 ・家庭ごみ収集運搬計画に基づき、計画どおりの収集日数を達成している。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	既存施設の老朽化が年々進行しており、早期に新たなごみ焼却施設を建設する必要がある。また、ごみ焼却施設周辺環境整備事業については基本計画に従い、事業の進捗を図ることが重要である。	地元との協定の確実な遵守と履行に努めるため、建設スケジュールに沿った事業の推進を図る。
2	資源物の拠点回収（サンデーリサイクル）実施会場の確保及び拡充の検討	定期収集に加え、日曜日に資源物の収集を実施するサンデーリサイクルなどにより排出機会を増やし、一層のごみ減量と資源化を推進する。

施策展開の方向性（H26年度以降）	広域ごみ焼却施設建設の地元同意後、関係用地の取得作業を進め、目標である平成３０年度の稼働を目指す。また、周辺環境整備事業については、施設の基本設計など、地元と協議しながら事業の進捗を図る。 既存のごみ処理施設については、計画的な維持修繕等により、今後も機能保全を図っていく。また、資源物の排出機会を増やすことにより、一層のごみ減量・資源化の推進に努め、安全で効率的な収集のあり方を検討していく。

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	ごみ処理施設計画 ［建設・改修整備事業］ 生活環境課	長野広域連合において計画している、ごみ処理施設（焼却施設２箇所、最終処分場１箇所）の整備を推進し、市民生活から排出されるごみの適正処理を行い、環境の保全を図る。	新たなごみ焼却施設建設に必要な、都市計画の変更手続きが完了した。
2	ごみ処理施設改修 ［建設・改修整備事業］ 清掃センター	ごみ処理施設（焼却施設・資源化施設・最終処分場）を安全かつ効率的に運用するため、老朽化した設備の維持修繕及び更新を実施する。	施設老朽化による設備のトラブルを未然に防止するため、計画的な維持修繕及び更新を実施した。
3	ごみ収集運搬 ［建設・改修整備事業］ 生活環境課	ごみ集積所に排出されたごみ及び資源物について、家庭ごみ収集運搬計画に基づき、収集を行う。	ごみ集積所に排出されたごみ及び資源物を、適正、迅速、効率的に収集を行い、衛生的な生活環境を保持することができた。
4			

番号	事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
1	A	A	A	A	A	継続	140,421	158,252	215,021	863,751
2	A					継続	650,975	741,042	754,786	941,346
3	A	A	A	B	A	継続	1,051,831	1,060,971	1,096,405	1,140,147
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26